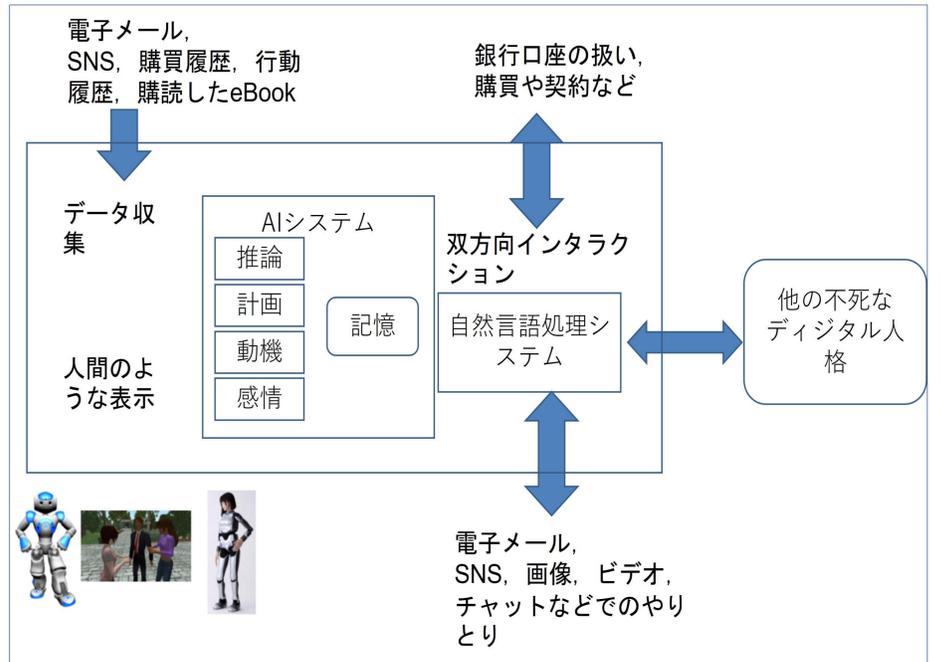


### 死後の個人データビジネス化調査

- 本人の死後に残るSNSのメッセージログなどをデジタル遺産と呼ぶ。デジタル遺産を死後に利活用するビジネス化が欧米では進んでいるので、これを調査した。
- GoogleはIAM、Facebookはメモリアルアカウントをサービス展開し、ゆくゆくは収益化を考えている。既にサービス化されているものとしては
- Lifenaut (<https://www.lifenaut.com/>)
- Eternime (<http://eterni.me/>)など多数ある。
- これらは一般にDigital Immortalと呼ばれ、右図のような構造である。
- Öhman & Floridiは、死者の葬儀の際の棺桶の写真のパロディ化したなどという倫理的に好ましくないものもあることを指摘し、社会問題とみなしている。
- 生物的身体よりライフスパンがデジタル遺産を扱う場合の問題として、死者のプライバシー保護、

財産的保護と利活用、遺言などの法制度、社会的感覚の調査分析が必要になってきている。



### 医療AIに対する社会調査

COCOA、医療チャットAIなどに対する人々の受け止め方を社会調査した。対象は一般人501人と、医師、研究者などの専門家23人。

- COCOAは効果的か？**
- 一般人：効果的246人/非効果255人
- 専門家：効果的12人/非効果11人
- 利用者が国民の20%程度、感染者が10%ほどしか登録しない、バグが多発、などが不評の原因

プライバシー保護の重要度	COCOAの匿名化技術が影響	一般人		専門家	
		あり	なし	あり	なし
重要	あり	114	102	11	3
重要ではない	なし	131	154	5	4

プライバシー保護の重要度	COCOAの匿名化技術が影響	一般人		専門家	
		あり	なし	あり	なし
重要	あり	114	102	11	3
重要ではない	なし	131	154	5	4

### 医療チャットAI

医療チャットアプリの効果	一般人		専門家	
	あり	なし	あり	なし
病名が分かる	134	39	9	1
診療科が分かる	151	67	11	4
病院行かずに済む	217	89	10	2
その他	10	4	4	2
役立つ項目なし	3	79	0	1

医療チャットAIの不利益	一般人	専門家
自分の病気や健康状態の情報がチャットアプリの会社に漏れる	151	10
上のチャットアプリ会社からさらに別の会社などに漏れる	161	11
間違った情報が提供される	327	20
その他	8	5
特になし	92	2

### ソーシャルなAIエージェントの道徳的身分をめぐる哲学的検討

- ソーシャルなAIの道徳的身分の哲学的考察
- 2000年代以降の技術倫理のポストモダン的な行為者性解釈（＝人間だけが道徳的行為を遂行できる存在ではなく、技術的人工物にも行為者性を認めるという考え）をソーシャルなAIの倫理事例に適用することの可能性と限界について考察。
- 分析美学を援用し、ユーザがソーシャルなAIに見出す行為者性を、AIを媒介とした想像的活動の中で成立している「虚構的真理」として捉える道を提案
- ソーシャルなAIエージェントの倫理的評価において、評価対象を技術単体ではなく、

- Waltonの「遊び」を用いる方針を提案
- 設計者は、ユーザが通常想定するような「自然な遊び」については責任があるが、それ以外について責任を負うことは現実的ではなく、必要もない。
- 例：Good Toy Awardや芥川賞の選評（小道具側の評価スタイル）を工学的な雑談対話システムに取り入れる重要性を示唆
- デジタルクローン（DC）による故人の表象をめぐる哲学的検討
- 応用として、DCによって故人の意思決定を代替することの倫理的課題を、単に故人を表象することと比較